



一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 TEL:03-6854-0001
MAIL : info@unitedsportsfoundation.org URL : www.unitedsportsfoundation.org

UNITED SPORTS FOUNDATION

2013-2014 Activities Report

代表メッセージ

「一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION(ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション)」は、東日本大震災以降、さまざまな支援・貢献活動への関心が高まる中、スポーツを通じて社会貢献することを目的に、2011年9月20日に設立いたしました。

全ての人に勇気や感動を与えることができる「スポーツの持つ力」を再認識し、その魅力をより多くの人に伝えるべく、ご賛同いただいたアスリートの方々、地域、企業の皆さまのご協力のもと、スポーツに触れる機会創出を積極的におこない、人々の心身の健康に寄与することを目指します。

「One World. One Team.」を財団メッセージとし、グローバルな視点でこうした活動を継続的、発展的に運営することで、世界全体のスポーツ文化振興に尽力してまいります。

一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
代表理事 諸橋 寛子



財団概要

理念 USFを支える3つの柱

1. 社会文化振興に対する貢献 —— スポーツを通して明るく楽しく健康的な社会の創造発展に貢献します
2. スポーツ文化振興に対する貢献 —— スポーツの社会公共文化財としての価値を高めスポーツ文化の創造発展に貢献します
3. 将来を担う子どもたちに対する貢献 —— スポーツを通して健全な心と体を持った子どもたちの育成に貢献します

活動内容 3つの理念に基づいた社会貢献活動

- スポーツキャンプ、イベント、クリニックの開催によるスポーツ振興
- スポーツ技術、用品、資金の支援

Message from the Board Chairperson

Amid heightened interest towards providing support following the Great East Japan Earthquake, we established the UNITED SPORTS FOUNDATION on September 20th, 2011 to contribute to Japan's recovery through the medium of sports. We strive to help as many people as possible rediscover the "power of sports," the ability sports have to give people courage and inspiration. Receiving generous support from athlete endorsers, corporate partners and community supporters, we aim to contribute to the development of the public's mental and physical health by progressively creating opportunities to engage in sports.

Under the motto "One World. One Team.," the UNITED SPORTS FOUNDATION continues to make constructive efforts at a global level to further develop the world's sports culture.

UNITED SPORTS FOUNDATION Board Chairperson
Hiroko Morohashi

Mission The three principles of USF

1. Contributing to the promotion of social culture
The USF contributes to the achievement of a fun, bright and healthy society through the encouragement of sports.
2. Contributing to the promotion of sports culture
The USF contributes to enhancing the value of sports by promoting the sociocultural value of sports.
3. Contributing to the children of tomorrow
The USF contributes to creating opportunities for children to enjoy sports while developing their mental and physical health.

Activities Contributions to society based on the USF mission

- ・Promoting the value of sports by holding sports camps, events and clinics.
- ・Providing goods, donations and sports skills.

2013年度のあゆみ

年間を通じてたくさんの活動をおこなったほか、ホームページのリニューアルや活動のPRも積極的におこないました。



活動総括 (2013年4月-2014年3月)

活動実績

■活動回数:

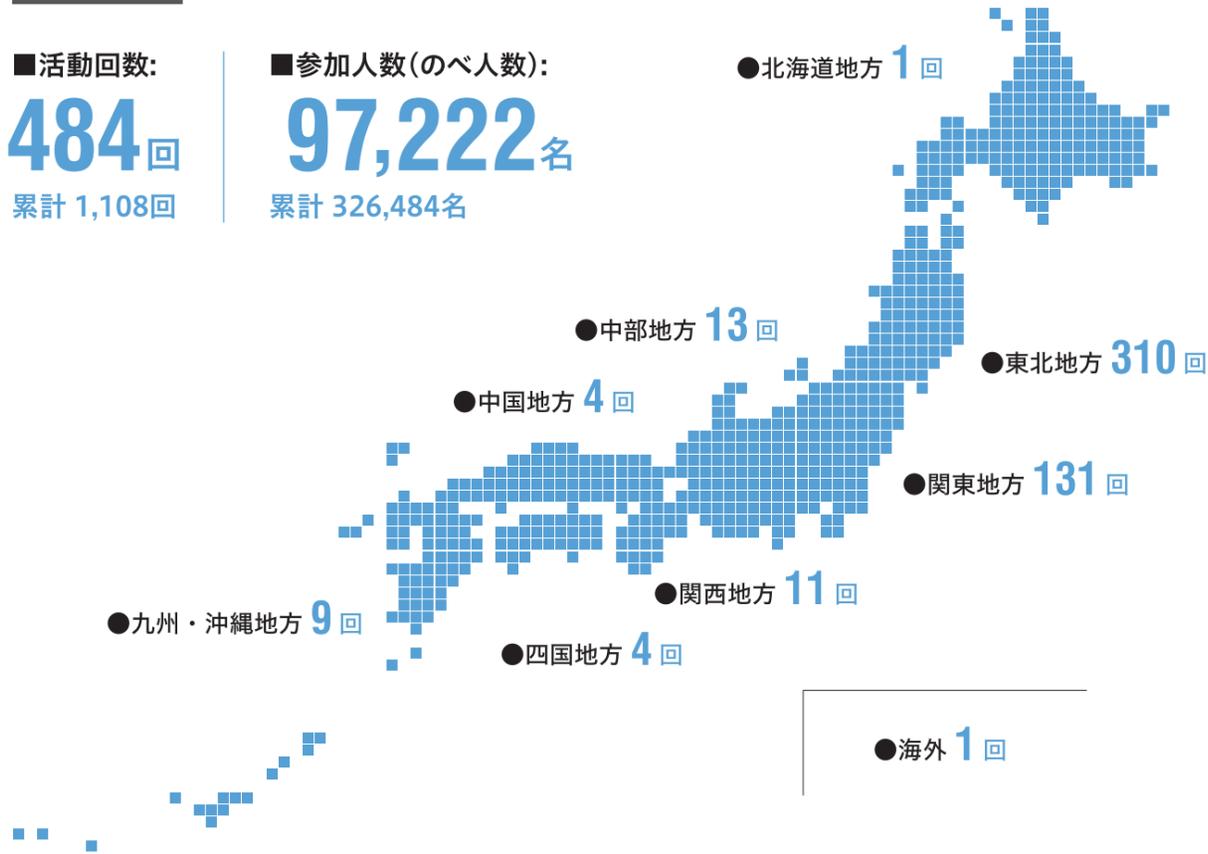
484回

累計 1,108回

■参加人数(のべ人数):

97,222名

累計 326,484名



■エリア別活動実績

北海道地方:	1回	96名
東北地方:	310回	66,359名
関東地方:	131回	25,890名
中部地方:	13回	1,188名
関西地方:	11回	1,535名

中国地方:	4回	378名
四国地方:	4回	1,084名
九州・沖縄地方:	9回	689名
海外:	1回	3名

スポーツ振興、裾野拡大などを目的とし、さまざまなクリニックやイベントをおこなってまいりました。また、子どもたちがプロスポーツやトップアスリートに触れる機会を積極的に提供し、夢と感動を与えるとともに、興味喚起や参加意識の醸成を図りました。

USFの活動にご支援・ご協力いただきました企業・団体・地域・アスリートの皆さまに心より感謝申し上げます。

活動実績

USF Sports Camp

トップアスリートやコーチ陣による直接指導のもと、子どもたちが様々なスポーツを体験する2泊3日のスポーツキャンプ。各種競技のクリニックやアクティビティを通して、スポーツの楽しさを再発見するとともに、自分自身の能力や関心を見つけ出す機会を提供します。また、アスリートの体験談や各国から集まったスタッフによる海外スポーツ環境の講話、初対面の参加者同士による共同生活を通してソーシャルスキルを身に付けることを目指します。

2012年よりUSFのオリジナル企画としてスタートした「USF Sports Camp」。2013年度は福島県郡山市にて実施し、公募により集まった小学校5・6年生が参加しました。

Sports Clinics

- サッカー ●バレーボール ●バスケットボール
- バドミントン ●卓球 ●フラッグフットボール

講師

- ・トムバイヤー (サッカー指導者)
- ・櫻井由香 (元バレーボール日本代表)
- ・大神雄子 (バスケットボール日本代表)
- ・小椋久美子 (元バドミントン日本代表)
- ・松下浩二 (元卓球日本代表)
- ・オービックシーガルズ (史上初ライスポウル4連覇チーム)

Activities

- チームビルディングゲーム ●アスリート講話
- オリジナルユニフォーム制作 ●海外スポーツ講話
- 英語でエール作り ●チーム対抗スポーツ大会

【後援】福島県、福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会



想いははぐくむ課外授業 金透小学校修学旅行

東日本大震災で大きな被害を受け、最低限の補強をした校舎と体育館、プレハブ教室を使って学んでいる郡山市立金透小学校。ようやく運動場と体育館の改修工事が叶うことになったものの、6年生は工事開始から卒業までの期間、運動することが制限される状況にあり、そんな環境の中でも、子どもたちが夢や希望を持ってスポーツや勉強に励む一助となるよう、修学旅行を企画しました。

一流のスポーツに触れる機会、優れた技術のプラネタリウム鑑賞といった体験学習の場を提供するとともに、東武動物公園や東京スカイツリータウン散策など、充実した社会見学をおこなった2日間となりました。

この修学旅行のことを知ったサッカー日本代表の清武弘嗣選手が郡山を訪問 (P.7)。卒業式には滞在先のドイツ・ニュルンベルグからビデオメッセージを送るなど、今もあたたかい交流が続いています。

【協力】コニカミノルタ株式会社



Figure Skating Dream for Kids

USF賛同者でもある荒川静香さんが中心となって企画プロデュースしているアイスショー「Friends on Ice 2013」に協力するとともに、荒川静香さんと高橋大輔さんを講師に迎えたフィギュアスケート教室「Figure Skating Dream for Kids」を開催しました。公募で集まったフィギュアスケート初心者の小学生たちは、日本を代表するメダリストのテクニックに魅入りながら、安全な転び方やスピンの仕方などを学びました。

また、中学生・高校生には一流のパフォーマンスに触れる機会を提供すべく「Friends on Ice 2013」に招待しました。

【協力】プーマ ジャパン株式会社



USF MULTI SPORTS CLINIC

ゼビオアリーナ仙台1周年記念イベント「SPORTS FESTIVAL 2013 秋」に協力し、トップアスリートを講師に迎えた「USF MULTI SPORTS CLINIC」を開催しました。

スポーツを始めるきっかけや継続するモチベーションに繋がるよう、初心者向けに公募されたクリニックはバスケット、バドミントン、バレー、サッカーの4競技。それぞれ個性あふれる指導に応え、子どもたちも真剣に練習に励みました。

講師

- ・桜庭珠美 (元バスケットボール日本代表)
- ・小椋久美子 (元バドミントン日本代表)
- ・櫻井由香 (元バレーボール日本代表)
- ・平瀬智行 (元サッカー日本代表)

集まれ! びわっこ!! スポーツフェスティバル

滋賀県内の小学生を対象に、地域スポーツ振興の一環として「集まれ! びわっこ!! スポーツフェスティバル」を開催しました。大縄跳びやしっぽとり鬼ごっこ、全員リレーなど、さまざまな競技を企画したもので、「スポーツを通して学び、つながる」ことを理念とする立命館大学の学生団体「RinkS (リンクス)」に運営主幹として協力いただきました。また、地元サッカークラブ「レイジェントFC」「大津ビクトリー」のメンバーもゲストとして登場いただき、サッカー交流会もおこなわれました。

【協力】立命館大学

岩崎恭子 着衣泳体験のススメ

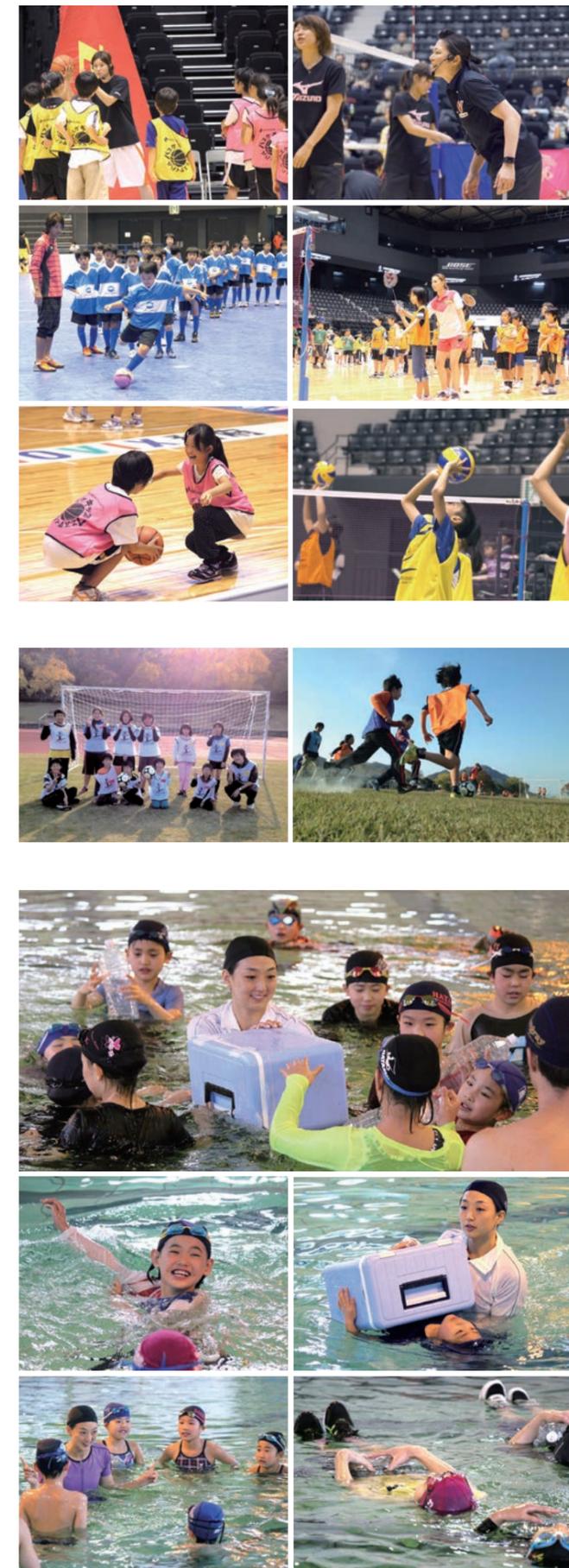
バルセロナオリンピック金メダリストの岩崎京子さんを講師に迎え、小学生を対象に着衣泳体験会を実施しました。

「着衣泳」とは、洋服を着た状態で水の中を浮いたり移動したりする技術のことで、水難事故から身を守るために効果的な訓練とされています。

参加した子どもたちは、水の事故に遭ったときの心得(まず落ち着くこと、大人に助けを求め、着衣のまま呼吸を確保すること、浮く助けとなるものを上手に使うことなど)のポイントについて講義を受けた後、プールでの実践に挑戦。

水着の時と着衣時の違いを体験したうえで、「浮き」として使えるもの(ペットボトル、クーラーボックス、ビニール袋、靴など)を活用して呼吸を確保する方法を学びました。最後に岩崎さんがオリンピック選手の泳ぎを披露する場面も。

【協力】株式会社林水泳教室、株式会社スポーツビズ



Sports Clinic

USFでは、各種スポーツクリニックを主催・協力し、それぞれに継続して機会提供できるよう、企業や団体、アスリートと連携を図っています。

all in for the dream ～子どもに夢を～

子どもたちに夢や希望を持って努力することの大切さを伝えたいとの思いから、2012年より継続的に展開しているサッカークリニック「all in for the dream ～子どもに夢を～」。現役プロサッカー選手、元日本代表選手などがサッカーチームや学校を訪問し、デモンストレーションや技術指導などの交流をおこないます。競技人口拡大や技術の底上げを目指すこの企画は、2013年度、福島、東京、福岡、大阪、静岡の計5ヶ所で開催ができました。

講師

- ・清武弘嗣 (サッカー日本代表、F.C.ニュルンベルグ)
- ・高橋秀人 (サッカー日本代表、F.C.東京)、三田啓貴 (F.C.東京)
- ・平瀬智行、波戸康広、小倉隆史 (元サッカー日本代表)

【協力】アディダスジャパン株式会社

バスケットフェスティバル

日本バスケットボール協会 (JBA) とエグゼクティブパートナーのゼビオグループとの協働事業である「NICHIBAN presents JBAバスケットフェスティバル」の開催に協力しています。バスケットボールの楽しさを一人でも多くの子ども達に伝えるため、元日本代表選手の指導のもと、JBAオリジナルカリキュラムでのバスケットボール教室を実施するほか、子どもたちをサポートする保護者や地域の指導者・審判を対象とした講習会もおこなわれます。2013年度は全国で合計42回、4,700人に参加いただきました。

講師

岩屋 睦子、大山 妙子、小畑 亜章子、楠田 香穂里、桜庭 珠美、佐古 賢一、塩屋 清文、関口 聡史、節政 貴弘、田中 利佳、永田 睦子、中原 貴子、丸岡 祥人、宮ノ腰 達也、矢代 直美、山崎 昭史

【協力】公益財団法人日本バスケットボール協会、ゼビオグループ



USFバレーボール教室

Vリーグバレーボールチーム「仙台ベルフィーユ」と連携し、「USFバレーボール教室」を定期的の実施しています。この教室では、USFが普及に努める子ども向け運動プログラム「BOKSプログラム」の体験会も併催しており、参加者は、BOKSプログラムでコミュニケーションを深めてから、バレーボールの指導を受けます。

現役選手たちから、直接、テクニックを教われる貴重な機会を提供しつつ、チームとしても地域に根差した活動の実現を図っています。

アイスホッケーキャンプ

ソチオリンピック出場を決めた女子日本代表「スマイルジャパン」、アジアリーグチャンピオンチーム「フリープレイズ」、アイススレッジホッケー日本代表、全日本選手権チャンピオン選手などを迎え、アイスホッケーキャンプをおこないました。愛知・新潟で実施されたキャンプには、周辺エリアからもたくさんの参加者が集まり、オンアイス/オフアイスのプログラム、講演会など充実のメニューを実施しました。

講師

- ・久保 英恵 (西武プリンスラビッツ、アイスホッケー日本代表)
- ・平野 由佳、藤本 もえこ、青木 香奈枝、坂上 智子 (三星ガイドベリグリン、アイスホッケー日本代表)
- ・河本 彰仁、鈴木 雅仁 (フリープレイズ、アジアリーグ優勝)
- ・春名 真仁 (王子イーグルス、全日本選手権優勝)
- ・須藤 悟 (北海道ベアーズ、元アイスホッケーパラリンピック日本代表)

USFスケート体験教室

アイスホッケー連盟やプロチーム、地元高校のアイスホッケー部などと連携し、アイススケート教室を実施しました。アイススポーツの楽しさを広く伝えるため、氷を張ったアイスリンクだけでなく、プラスチックアイス (プラスチック製アイスリンク) を活用することで、季節や場所を問わずスケート教室が実現できました。

【協力】国際アイスホッケー連盟、公益財団法人日本アイスホッケー連盟

メッセージフロム・愛知 中西哲生サッカー教室

USF創立時より実施しているスポーツジャーナリストの中西哲生さんとのコラボ企画は、今年で3回目を迎えました。この活動は、中西氏の発案にて愛知県で実施される「メッセージフロム愛知 チャリティーゴルフコンペ」の収益金が活用されています。今回は、「第2回ふくしま未来杯」(主催:RESMILE PROJECT)との同時開催が実現し、サッカー教室とトーナメントのほか、正しいサッカーシューズの選び方やメンテナンス講座も開かれました。



BOKSプログラム

“BOKS (ボックス) プログラム”は、幼稚園や学校の授業が始まる前におこなうアメリカ生まれの知育運動プログラム。年齢や運動能力にかかわらず、楽しく運動できるというのが特徴です。

アメリカでは「ゼロ時間目のプログラム」として展開され、一定の効果をあげており、ハーバード大学のジョン・J・レイティ博士が推奨しています。

USFでは、各学校や団体が自主的継続的に“BOKSプログラム”を運用していけるようインストラクターの派遣や体験会、研修会などのサポートを続けています。

幼稚園・保育園・小学校などでの体験会の実施



インストラクター研修



BOKSプログラムは、プロスポーツチームのCSR活動として導入され選手たちが体験会を実施したり、各種イベントに参加して広く紹介する活動も進めています。

プロチームによる学校訪問

アイスホッケーチーム“フリーブレイズ”の活動 ほか



各種イベントでのPR活動

「とびだせキッズ!みんなで体験ワールド」 ほか



※BOKSプログラムを広める活動は、リーボックジャパンのご協力をいただいています。
※BOKSプログラムの一部活動はスポーツ振興くじ助成事業です。

〈BOKSプログラムの効果〉

運動不足解消と運動能力向上

適度に身体を動かすことによって運動不足が解消され、普段使わない筋肉を使うことにより強い筋肉や柔軟性といった体力、運動能力の向上が図れます。

脳の働きの活性化と最適化

運動することによって脳の働きが活発になり、学力が身につく状態に変わることが期待されています。

ストレス解消とメンタルコントロール

アメリカの調査で、身体を動かすことがストレス解消につながり、運動後には子どもたちに集中力や落ち着きが出たとの効果が報告されています。

コミュニケーション能力と協調性

互いに声を変え合ったり、チームで協力したり、触れ合ったりするプログラムで、楽しみながらコミュニケーションの向上が図れます。

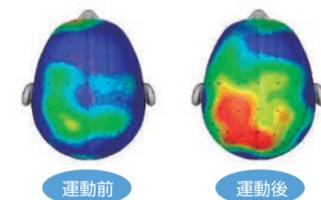
ジョン・J・レイティ博士

医学博士、ハーバード大学医学部臨床精神医学准教授



カナダアルバータ州のウェルネス・アドバイザー、アメリカカリフォルニア州の体育・スポーツ分野知事諮問委員会、アメリカリーボック本社のActive Kids大使、アメリカユタ州のウェルネス・スペシャル・アドバイザー、馬英九総統と台湾をスポーツ島にする活動など、スポーツ関連の活動も精力的に取り組んでいる。日本での著書も多数。

20分運動した子どもの脳の動き



※イリノイ大学チャールズヒルマン博士による調査結果より

運動前後の脳の動きを比較すると、運動後の脳の方が活発に機能する。



BOKSプログラムが誕生するきっかけとなった著書。「脳を鍛えるには運動しかない!」

東日本大震災の影響により屋外での活動が制限された福島県の状況を鑑み、子どもたちが自由に身体を動かせる遊び場提供として、屋内施設「UNITED SPORTS FOUNDATION Kids Park (キッズパーク)」を運営しています。BOKSプログラムやダンスプログラムといった運動プログラムの提供や、定期映画鑑賞会、季節の行事を楽しむ企画など、多くのコンテンツを提供しました。

BOKSプログラム

毎週土・日にBOKSプログラムを定期実施するほか、さまざまなイベントで紹介しました。



Kids Park利用者

- 34,387名 (2013.4.1-2014.3.31)
- 累計 105,491名 (2011.10.7-2014.3.31)

ロディオガ

子どもたちに人気の乗用玩具“ロディ”を使った親子ヨガ。毎回テーマを変えて実施しました。



定期映画鑑賞会

毎月第3日曜日には、アニメ映画を中心に定期映画鑑賞会を実施しました。



※シアターセットは歌手のクリスタル・ケイさんに寄贈いただきました。

なわとび記録会

なわとび記録会の実施では、みんなが競い合って記録に挑戦しました。

小学生の部			
1位	大波 直史	吉田小学校	3年 184回
2位	神崎 心	余田小学校	2年 183回
3位	高橋 佐菜	松小中学校	2年 167回
4位	船山 愛菜	知里小学校	3年 166回
5位	前田 愛咲	伊達小学校	2年 166回
6位	カズミ はな	伊達小学校	3年 165回
7位	佐藤 ゆん	上原小学校	2年 163回
8位	越島 翔	野田小学校	1年 161回
9位	さな あり	知里小学校	2年 161回

USF HipHop Program / 踊育(だんいく)

音楽に合わせて楽しくダンス、健康な身体や想像力を養うプログラムを提供しました。



※UNITED SPORTS FOUNDATION Kids Parkは、2014年3月末に、スーパースポーツゼビオ矢野目店内の“キッズエリア”に移設され、その役目を担います。
※2013年度の運営には公益財団法人東日本大震災復興支援財団の支援をいただきました。

季節イベント／スペシャルイベント(抜粋)

季節の行事に関連した参加型のイベントや、サプライズゲストをお招きした企画を実施しました。

●母の日/父の日プレゼント ワークショップ

大好きなお母さん、お父さんに、心を込めたプレゼントを作りました。



●願いを込めて七夕飾りを作ろう

折り紙のワークショップと短冊に願いを込めて、七夕飾りをみんなで作りました。



●キッズパーク夏祭り

輪投げや水遊びなど、たくさんのアクティビティを実施。大道芸人アリスさんやキビタンも登場しました。



●ウルトラマン ヒーロキャラバン

ウルトラマンタロウがキッズパークにやってきました! みんなでショーや体操を楽しみました。



●エイサー太鼓公演会

沖縄エイサー太鼓の演奏にあわせて、踊ったり歌ったり、愉快な1日になりました。



●クリスマスパーティー

サンタさんとパフォーマーからバルーンのプレゼント。“赤鼻のルドルフ”ゲームにもチャレンジしました。



●お正月遊びをエンジョイ

かるた大会、こま回し教室、福笑いなど、懐かしのお正月遊び体験をしました。



●福はうち! 鬼はそと!

お豆アートのワークショップと豆まきを実施。子どもたちの攻撃に赤鬼も青鬼も逃げ回りました。



支援・協力活動

スポーツ振興やスポーツを通じた人材育成、地域活性化などを目的とする活動に、支援をおこなっています。

2013年度実績

- WCSウォーキング大会 (2013.4.14)
- 2013 日韓V.LEAGUE TOP MATCH (2013.4.21)
- 家族で楽しむ綱引き大会 (2013.5.26)
- 三世代で楽しもう! 青空スポーツバイキング (2013.6.2)
- 僕の夢わたしの夢はふくしまの夢絵画コンクール (2013.7.7)
- ファミリーバレーボールプロジェクト2013 (2013.7.15)
- すまいる駅伝 (2013.7.21)
- 震災復興支援マッチ
仙台ベルフィーユ vs デンソーエアリービーズ (2013.7.21)
- 明日を拓く道 ○○の一步プロジェクト (2013.7.25)
- 中西哲生フットサルイベント&GAKU-MCライブ (2013.8.1)
- Friends on Ice 2013 (2013.8.23)
- 復興マルシェ (2013.8.23-24)
- d.rose all in lesson (2013.9.6)
- Smile&Dream CUP 2013 (2013.9.14-16)
- 2013復活黒鷲旗争奪バレーボール大会 (2013.9.22)
- 瑞穂野南小学校140周年記念事業 (2013.10.8)
- 猪苗代湖ハーフマラソン (2013.10.27)
- 子どもに笑顔をプロジェクト (2013.10.28、2014.3.10)
- 福島の子どもたちを甲子園に!プロジェクト (2013.11.8-10)
- 越谷レイクタウンランニング (2013.11.10)
- 東北小学生女子野球交流会 (2013.11.24)
- 第3回ちびっこ大運動会 (2013.11.30)
- メッセージフロム愛知チャリティゴルフコンペ (2013.12.17)
- FIS フリースタイルスキーW杯 猪苗代大会 (2014.3.1-2)
- Walk in Her Shoes 2014 (2014.3.5)
- 宮城県ジュニアアスリート育成事業 (通年事業)



立命館大学 USF特別協力講座

2012年に学術交流・協定を締結した立命館大学スポーツ健康科学部との取り組みで、昨年度よりUSF特別協力講座「21世紀のプロスポーツビジネス」を開講しています。

今年度は、「現代社会の要請・変貌するスポーツビジネスの展望」をテーマに、15回の講義を実施しました。スポーツ経営学の基本から、チーム経営、非営利団体、メディア、リテラーなど多彩な講師陣によるケーススタディが学べる講義は、受講登録が500人を超える人気講座となりました。



講演・広報活動

USFの活動を広く知っていただくために、講演会や広報活動も積極的におこなっています。

- 大阪ロータリークラブ卓話 (2013.5.31)
- スポーツを活用したまちづくりシンポジウム (2013.3.4)
- 3×3 FIBA WORLD TOUR チャリティーブース (2013.7.20-21)
- 中野区立中野中学校 総合的な学習の時間 (2014.01.24)



メディアクリッピング

USFの活動をたくさんのメディアに取り上げていただきました。(抜粋)

2013年5月11日 朝日新聞

BOKSプログラム



2014年4月22日

日本テレビNEWSZERO ほか

all in for the dream ~子どもに夢を~



2013年10月号プレジデントfamily

BOKSプログラム



2014年4月28日

福島放送「ふくしまスーパー」チャンネル」ほか

USF Sports Camp



ホームページを刷新しました

www.unitedsportsfoundation.org



カレンダー機能で活動情報が見やすくなりました

Facebookやスタッフブログをはじめました

アスリートや企業の皆さまのインタビューや対談記事を連載しています

福島子どもカプロジェクトに参加しています



子どもたちの学びと育ちを自然体験、スポーツ、アート、国際交流、化学などの幅広い分野を通じて支援し、将来の福島を担う人材を育成することを目的とした「福島子どもカプロジェクト」に参加しています。今後も、参加する各団体や自治体とともに、「子どもカ」を伸ばすプログラムを考えてまいります。

【主管】東日本大震災復興支援財団



多くの皆さまからご支援をいただきました(抜粋)

●UNITED SPORTS FOUNDATION presents 第8回頑張れ東北!チャリティーセミナー

Special Thanks

兵庫県立大学経営学部教授 川上 昌直先生
立命館大学スポーツ健康科学部教授 種子田 穰先生



●山海楼 Presents 日中友好・震災復興チャリティマッチシリーズ

Special Thanks

株式会社 新世紀商事 (山海楼)
チャリティー企画の収益金をご寄付いただきました。



●木造遊具寄贈

Special Thanks

福島県東北農林事務所
安心して遊べる県産材木製遊具を寄贈いただきました。



賛同企業やアスリートの皆さまのご支援のほかにも、多くのチャリティイベントや個人・団体の皆さまからご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

財団基本データ Organization Data

基本情報 Profile

正式名称 一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
通称 USF(ユーエスエフ)
代表者 代表理事 諸橋寛子
所在地 東京都千代田区神田錦町3-20
設立日 2011年9月20日
メッセージ One World. One Team.

Name General Incorporated Foundation UNITED SPORTS FOUNDATION
Abbreviation USF
Representative Board Chairperson Hiroko Morohashi
Location 3-20,Kandanishikicho,Chiyodaku,Tokyo
Date of Establishment September 20,2011
Message One World. One Team.

問い合わせ

TEL:03-6854-0001 FAX:03-5282-7653
MAIL:info@unitedsportsfoundation.org
URL:www.unitedsportsfoundation.org

Contact

TEL:03-6854-0001 FAX:03-5282-7653
MAIL:info@unitedsportsfoundation.org
URL:www.unitedsportsfoundation.org

役員 Board Members

代表理事 Board Chairperson	諸橋 寛子 Hiroko Morohashi	スペシャルオリンピックス日本・福島 副会長 Vice Chairperson, Special Olympics Nippon, Fukushima
理事 Director	ロブ・ラングスタッフ Rob Langstaff	RYZ CEO Founder/CEO, RYZ
理事 Director	田尻 邦夫 Kunio Tajiri	NPO法人新社会人養成塾BOOSTER代表 President, NPO BOOSTER
理事 Director	村田 真一 Shinichi Murata	関東学院大学非常勤講師/米国NLP協会公認NLPトレーナー Adjunct Instructor, Kanto Gakuin University/NLP Trainer, authorized by the Society of NLP
評議員 Councillor	中野 泰三郎 Taizaburo Nakano	東京コカ・コーラボトリング株式会社常勤相談役/沖縄コカ・コーラボトリング株式会社取締役 Managing corporate adviser, Tokyo Coca-Cola Bottling Co., Ltd./director, Okinawa Coca-Cola Bottling Co., Ltd
評議員 Councillor	ジンジャー・グリッグス Ginger Griggs	ビジネスコンサルタント Business Consultant
評議員 Councillor	種子田 穰 Joe Taneda	立命館大学スポーツ健康科学部教授 Professor of Sports Business and Management Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University
評議員 Councillor	石綿 学 Gaku Ishiwata	森・濱田松本法律事務所/弁護士 Attorney at law, Mori Hamada & Matsumoto
監事 Inspector	小谷野 幹雄 Mikio Koyano	小谷野公認会計士事務所所長/公認会計士・税理士 Certified Public Accountant/Representative, Koyano Certified Public Accounting Office

ご支援・ご協力のお願

USFは、皆さまのご寄付や企業のサポートによって支えられている 非営利組織です。
 スポーツを通して地域の活性化、健全な心身育成、文化の醸成、発展に寄与すべく、さまざまな活動をしてまいります。
 パートナーとなっただけの皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

寄付によるご支援

USFホームページより、寄付申込用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、指定の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

www.unitedsportsfoundation.org

募金箱の設置

お店やイベント会場、会社などにUSFの募金箱を設置して下さる方を募集しています。

物品のご提供

スポーツを頑張る子どもたちへのプレゼントや、各種イベントでのスポーツ用品の提供なども募集しています。

ボランティアへの参加

USFのスポーツイベントと一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。

賛同企業・アスリートご紹介

賛同企業・団体 Supporters



賛同アスリート Athlete Endorsers

